

社会保障委員会 NEWS

発行：社保委員会事務局

■全日本民医連国会議員請願統一行動で

仮設健康相談会で出された声を要望。

8月17日、全日本民医連の国会議員請願行動が行われました。宮城は、坂総合病院から2名が参加。仮設住宅の健康相談会で出された要望を地元議員に直接伝えました。



<健康相談会のまとめで入居者の健康状態を説明>

民主党・桜井充副大臣、地元4区の石山議員など4名の議員会館事務所を訪問。各議員は委員会等で留守のため、秘書が対応しました。

まず、被災地の病院として毎週医師・看護師で仮設健康相談会を開催していること、来場者の半数は最高血圧150以上で通院治療中の方は半数であること、未通院の方の中に最高血圧180~217という方が一定数いることなどを説明しました。要望としては、①通院・買い物の交通事情改善のための巡回バスやタクシー助成を検討してほしいこと②熱中症対策のための電気代の助成を行ってほしいこと③生活困難者の相互援助のため、町内会の確立や民生委員配置の援助がひつようなこと、の3点を要望しました。

<「被災地の現場での貴重な取り組みですね。」>

唯一国会議員と面談できたのが、日本共産党・高橋ちづ子議員でした。高橋議員は、先日も巡回バスへの助成制度について国会で取り上げ、その拡充を引き出しました。当方の説明にもメモをとりながら、「被災地の貴重な取り組みの数字ですね。」「電気代の助成は必要ですね。暑くても、寒くてもエアコンが必要ですから」と対応いただきました。参加した病院診療サービス課の菅原さんの感想は、「地元でも、もっと継続して取り組まないといけないと感じました。」

■引き続き、多賀城・城南仮設で2回目の健康相談会開催。

18日には、多賀城・城南仮設で2回目の健康相談会を開催しました。医師は内藤副院長が初参加、看護師ICUと7階から2名、リハ1名、友の会は前回に続いて尼ヶ崎さんが参加しました。今回もみやぎ生協から理事と地域のリーダーさん達6名に参加いただきました。



<12名中9名の方が初参加。>

今回は12名の入居者の方が来場。うち9名が初めての参加でした。

血圧150以上の方は半数の6名でしたが、4名は坂病院通院中で他の方もかかりつけ医通院中ということもあってか、極端に高い方はいらしゃいませんでした。

内藤副院長は、じっくりお話を伺い、血圧の高い方で整形や泌尿器など受診中の方には、「主治医の先生に相談して内科受診してみてください。」とすすめました。

<参加者の感想>

・診察室でゆっくりお話を聞く機会が余りないので、じっくりお話を聞けました。かかりつけ医のいる方が多かったが、お話を聞くことで不安をやわらげられていると感じた。交通手段がなく、通院が大変と訴える方が多かった。(医師)

・「仮設は夏間は暑くて、冷房をかけても意味がない」という言葉に、大変な生活の様子が伺われた。(コメディカル)

・「眠れない」と訴える人が多くいると感じた。部屋数がないので、生活リズムが違っていると大変だと感じた。坂までの交通手段が大変だと言われた。(看護師)

■9月29日(木)学習時間は、定例の「気になる患者さん訪問」

です。13:30クリ1号館5階ディルム集合です。